

安心・安全なジビエペットフードのために

～ジビエペットフード原料に関するマニュアル～



ジビエペットフード利用推進協議会

安心・安全なジビエペットフードのために

～ジビエペットフード原料に関するマニュアル～



ジビエペットフード利用推進協議会

2023年3月初版

2024年3月改訂

はじめに（本マニュアルの位置づけ）

愛がん動物用飼料（以下、ペットフード）に関する法令は、愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律（以下、ペットフード安全法）がありますが、製造・販売にかかる基準・規格として、「安全な原材料を使用すべき」という事は記載されているものの、原材料そのものの製造方法については具体的に規定されていないのが現状です。

当協議会は、ペットの健康を守るためにも、ペットフード原材料としてのジビエ（以下、ジビエペットフード原料）に関しても、食用（人用）と同様に安心・安全の確保が必要であると考えます。

本マニュアルは法令ではないものの、ジビエペットフードの利用促進に関する関係者で作成した、モデルとすべき、ジビエペットフード原料の衛生的処理加工方法を記載するものです。

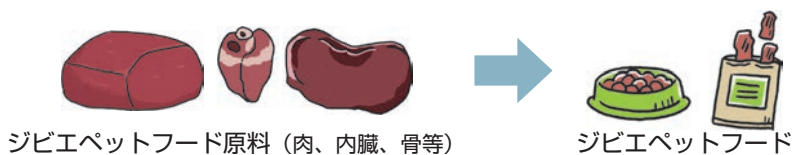
安心・安全なペットフードを供給するため、ジビエペットフード原料を製造するジビエ処理施設並びにジビエペットフード原料を仕入れるペットフードメーカーにも内容をご理解頂ければと思います。

目次

第1章 「ジビエペットフード」の役割	3
1. 消費者（ペット）へのメリット	3
2. ジビエ処理施設のメリット	4
3. ペットフード原料に適するジビエについて	5
【コラム】 目指すべきジビエの「四方よし」の提案	8
第2章 ペットフードに関する知識	11
1. 変化する消費者（飼い主）の意識	11
【コラム】 イマドキのペットとの暮らし方	13
2. ペットフード安全法ってどんな法律？	14
3. 現在流通しているジビエペットフードの形状	17
4. メーカーが求める原料	19
5. メーカーとの取引事例（ロット、カット方法など）	20
6. ジビエペットフードの取組事例	22
第3章 ペットフード原料の解体処理のポイント	25
1. ペットフード安全法に基づく安全性の確保	25
2. ジビエペットフード製造管理の例	28
3. ジビエペットフード原料に関する本マニュアルでの指針	29
4. 衛生的な解体作業のために（知識、技術）	31
5. 共通感染症に関する知識	37
【コラム】 野生動物はどれくらい病気を持っているの？	40
第4章 持続可能なジビエ処理施設の運営に関する提案	44
1. 品質や労力によって価格に差をつける	44
2. 食肉施設で発生する副産物の活用	45
3. 残渣処理の効率化	45
4. ジビエ処理施設が自らペットフード加工する	46
【コラム】 動物園動物への屠体給餌は「生肉」ではありません！	48
（参考）肥料や肉骨粉の製造に関する注意点	49
参考資料（関係法令等）	51

〈本マニュアルで使う言葉〉

本マニュアルで対象とする「ペットフード」は、犬、猫の食事とするものとします。また、ジビエとは国内で捕獲、処理されるニホンジカ、イノシシ肉を指すこととします。（本来の「ジビエ」とは、フランス語で猟期の狩猟鳥獣肉を指しますが、日本では最近一般的に、捕獲時期を問わない野生鳥獣肉を指すようになったので、それにならうものとしています）。



- ・ ジビエ処理施設…イノシシやシカの解体処理を行う施設。
- ・ 厚労省ガイドライン…厚生労働省が作成した「野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針（ガイドライン）」。
- ・ カラーアトラス…上記厚労省ガイドラインの別紙資料。正常 / 異常なイノシシ、シカの内臓等の写真が掲載されている。

※本マニュアルにおいては「手作りフード用生肉（生肉の状態で飼い主の手に届き、飼い主が加熱調理する商品）」を除き、基本的に加熱等により加工したものを「ジビエペットフード」、その原料を「ジビエペットフード原料」と記載します。